



**この1学期 スタートをうまく切れなかったと思っている生徒のみなさんへ
でも大丈夫です。郡中ではあなた方一人一人をしっかり受け止め、サポートしていきます。
輝く夏に向けて、自分の歩き方と自分のリズムを大切に、動き出してみましょう!**

新学期がスタートしてはや4か月、あと10日余りで1学期が終了しようとしています。そして、この1学期、全校生徒の中には、新しい学校生活やクラスメートとの関係、また、進路実現に向けて、日々の学習要求の増加等、様々な変化の中で新たなストレスや不安を抱えた生徒達もたくさんいたことでしょう。また、中学生は、自己のアイデンティティや価値観を見つけようとする時期でもあり、自分自身が誰なのか、どのような人間でありたいのかといった問いに向き合い、模索しています。それ故に、生徒の中には、同じ学年の仲間や社会的なグループに受け入れられようとするあまり、他の生徒との比較や自己評価に苦慮する場面にも陥ってしまい、この同調圧力の中で、心の揺れやストレスが大きくなってしまい、学校への登校が重くなってしまふ生徒も出てきたのではないのでしょうか。

しかし、大丈夫です。それは、多感な時期を迎える中学生であるならば、誰でもが経験する戸惑いや不安であり、悩みが大きいということは、それだけ深く自分自身のこと、周りのことを考えようとしている証だとも捉えることができるからです。

郡中は、そんな生徒一人一人をしっかり受け止め、サポートしていける学校でありたいと考えています。

そして、そのために、郡中には、生徒の心の健康や個別のニーズにも配慮しながらカウンセリングやサポートを提供するスクールカウンセラーや心の教室相談員等の人材を備えています。また、たとえ教室に入れなくても、生徒にとって心の落ち着く居場所になればと午前中は「リソースルーム」を開設し、次なる歩みを支援しています。さらには、大村市教育委員会が運営する「あおば教室」や「conne」、民間のフリースクール「school」とも連携を図りながら生徒支援にも努めています。

このように、これからも郡中は、生徒の背景や特性を理解し、尊重する中で、多様な生徒たち一人一人が共存できる学校環境を全ての職員とともに、そして、関係機関と密なる連携を図りながら、提供できるよう真摯に取り組んでいきます。また、差別やいじめを防ぐための教育プログラムや集会活動を積極的に導入し、全ての生徒が安全に受け入れられる支持的風土の構築にも努めています。

最後になりますが、生徒一人一人をしっかり受け止め、サポートしていくためには、何よりも保護者の皆様との信頼関係、パートナーシップが大切だと考えます。これからも学校経営、運営に対する忌憚のないご意見をいただく中で、本校の教育活動に対するご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願ひします。

「チーム郡」としての生徒のサポート体制を紹介させていただきます!



**学校生活や友人関係で
悩みや不安を抱いた時は?**



その1 まずは担任や学年の先生に相談してください。

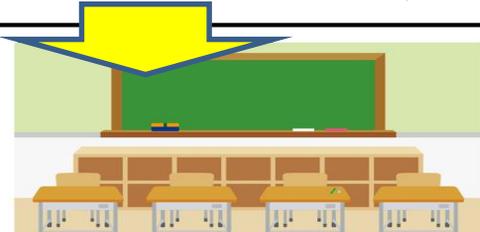


スクールカウンセラー
札本のり子先生



心の教室相談員
萱野智恵美先生

その2 担任の先生に相談しにくい時には、スクールカウンセラーや心の教室相談員の先生に相談してください。受付は、西野副校長、荒木養護教諭が行います。保護者の方でも遠慮なくご相談ください。



郡中学校適応教室「リソースルーム」

その3 教室に入ることが辛くなった時は「リソースルーム」の活用を申請してください。受付は、内山主幹教諭が行います。あくまで、教室における授業を受けるまでの期間限定の使用となりますが、少人数で静かに自習できる環境が整っています。ここを活用している生徒のみなさんは、タブレットを持参して教室の授業をオンラインで受けたり、黙々と問題集や担当の先生からいただいたワークシートに取り組んだりしています。但し、「リソースルーム」の利用は午前中のみとなっています。



その4 担任や学年の先生、スクールカウンセラーや心の教室相談員の先生方に相談しても、心が晴れず、登校するのが難しいと感じた時は、自分の体調を判断して、登校できる時間で「あいさつ登校(タッチ登校)」を活用してください。たとえ短い時間であっても、担任・学年の先生や養護教諭の先生方と直接会って近況を話すことができれば、出席が認められます。このことで、生徒が自宅に引きこもることなく、まずは生活リズムを構築してくれることを願っており、温かい言葉かけと共に学習プリント等の配布を行っています。



その5 それでもどうしても学校に足が向かない時は、思い切って大村市教委の「あおば教室」「conne」や民間フリースクール「school」を活用してみましょう。校長面談、市教委面談を通して、学校に登校できなくても出席扱いになります。資料等も準備しておりますので、ご連絡下さい。

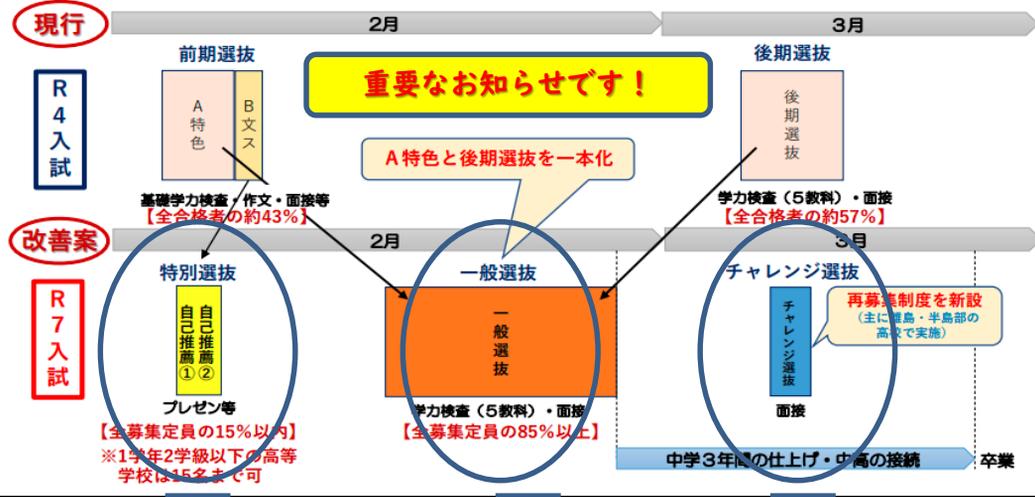
現在の中学2年生が受検する令和7年度入学者選抜から 公立高校の入試が変わります！



長崎県教育委員会は、7月6日（木）、県内公立高校の入学者選抜制度（全日制・定時制昼間部）の改革内容を明らかにしました。定員の充足や学力の担保などの面で課題があったとされる現在の入試制度の「前期・後期選抜制度」を廃止し、①自己推薦による「特別選抜」、②学力検査が中心の「一般選抜」、③再募集の「チャレンジ選抜」の3段階で県内公立高校の入学者選抜を実施すると発表しました。対象は2025年4月に入学する現在の中学2年生からとなります。

長崎県教育委員会が公開した新しい入学者選抜制度に関するパンフレットをもとに、下記に詳細な説明を行っています。ご一読ください。

R7年度公立高等学校入学者選抜制度(全日制)改善についてのイメージについて



改善の趣旨

変化の激しい社会において、現在直面している課題や今後新たに生じる課題に対して、主体的に取り組み、他者と協力して解決する力や高い思考力、国際性を身に付け、ふるさと長崎や世界の未来を拓く人材の育成がこれまで以上に重要となる。このことをふまえて、「自らの可能性を高め、自分らしさを育む」「探究的な学びを推進する」「ふるさとへの愛着や誇りを育む」の3つの高校教育の柱に基づき、入学者選抜制度を改善する。



①特別選抜

○中学校内外で主体的に取り組んだ活動で培った自らの強みを生かします！
(文化・スポーツ・生徒会活動で顕著な実績を持つ者、起業体験者、プログラミングコンテスト受賞者、IT系国家資格の取得者、など)

調査書、自己推薦書、個人面接またはプレゼンテーション
全募集定員の15%以内

②一般選抜

○中学校までに取り組んできた学びの内容に加えて、日常生活、社会問題などと関連した探究的な学びを検査問題に取り入れます！
○皆さんの学びに向かう姿勢を評価します！

学力検査(5教科)、調査書、面接
全募集定員の85%以上

③チャレンジ選抜

○きめ細かな指導を行っている少人数教育実施校で、それぞれの夢や目標の実現に向けて頑張る姿勢や意欲に応えます！
○主に離島・半島部の高校で実施します！

調査書、個人面接全募集定員から特別選抜と一般選抜の合格者を除いた数

令和5年度 郡中「図書館教育」は、その充実と発展のため、図書ボランティアの皆様や読み聞かせボランティア「はじめの一步」の皆様からたくさんの支援をいただいています。心より感謝申し上げます！



左の写真は、図書ボランティアの皆様活動の様子です。郡中では年間3期にわたって新書を購入していますが、今回登録をいただいた12名の図書ボランティアの皆様へ、第1期購入分の150冊以上の新書のキャーリングを、3日間にわたって丁寧に行っていただきました。そのお陰をもちまして、生徒達への新書貸出を例年より早く実施することができました。本当に深く感謝する次第です。



左の写真は、読み聞かせボランティア「はじめの一步」の皆様活動の様子です。読み手の思いや生徒たちの実態に合わせて、様々な絵本がセレクトされ、工夫を凝らした読み聞かせを行っていただいています。生徒達も本当に楽しみにしており、みんな真剣に聞いています。この読み聞かせは、各学年年2回の予定です。